



2021年5月20日

各位

会社名 アルテリア・ネットワークス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 株本 幸二
(コード番号:4423 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 CFO 建石 成一
(TEL. 03-6823-0349)

(開示の経過) 新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、2020年9月30日に開示した「新たな事業の開始に関するお知らせ」にて公表した事業に関し、新たなサービスを開始することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 概要

当社グループは、法人・個人のお客様毎のニーズに対応した次世代ネットワークサービスを提供するため、自社光ファイバー網にSD-WAN技術(注1)を用いたサービス基盤を構築し、これを用いた様々な通信サービスを提供していくことを、2020年9月30日に公表しました。

その一環としてこの度、SD-WAN技術を用いたマンションインターネットサービス「Connectix(コネクティクス)」を開始することとなりましたので、お知らせいたします。

当社および当社子会社である株式会社つなぐネットコミュニケーションズ(以下、つなぐネット)は、コロナ禍でテレワーク利用等が爆発的に普及し、マンションなどの自宅からのインターネット利用機会が増えていることを背景に、利用者毎の需要に応じたインターネット接続環境の提供を可能にする通信サービスとして「Connectix(コネクティクス)」を、つなぐネットが提供する国内No.1シェア(注2)の全戸一括型マンションISPサービス(注3)のオプションサービスとして提供を開始いたします。

「Connectix(コネクティクス)」はSD-WAN技術を活用して、仮想ネットワーク上でマンション内の住戸毎に通信品質をコントロールする当社グループが開発した特許出願中の画期的な通信サービスです。つなぐネットのConnectix対応の全戸一括型マンションISPサービスの利用者は、オンラインから申し込むことで、即時に申込者のインターネット通信が優先的に取り扱われることとなります。Connectixサービスの利用者はマンション内の他の利用者のトラフィックに影響されることが少なくなり、常に快適な通信環境での利用が可能となります。

(注1)SD-WANとは、回線スピードの変換やセキュリティ、認証機能等をソフトウェアで提供することにより、開通時間の短縮や構成・機能の変更を行い易くしたSDN(Software Defined Network)の適用範囲をLAN(Local Area Network)からWANに拡張したものをいいます。

(注2)株式会社MM総研「全戸一括型マンションISPシェア調査(2020年3月末)」調べ。

(注3)マンション全戸へインターネットを一括導入することで、高速・高品質な光回線を高いコストパフォーマンスでご提供するサービスをいいます。

2. 本サービス開発の背景

インターネット接続サービスは利用者がインターネット設備を共有して利用するため、利用者数や通信量が増加することで混雑が発生し、通信速度の低下などの現象が発生します。

つなぐネットが提供する全戸一括型マンションISPサービスは、マンション全戸にインターネット環境を提供するサービスであり、当社グループが保有する通信インフラを活用するため、他社との比較においても高い通信品質が確保されることが評価され、供給戸数では国内シェア1位と多くの方々にご利用頂いております。一方で、コロナ禍の影響もありテレワーク利用の増加や、動画視聴サービスの普及などで、国内の固定系ブロードバンドサービス契約者における総ダウンロードトラフィックは、

2020年11月時点の前年同期比で56.7%、総アップロードトラフィックは51.1%と大幅に増加(注4)しており、高い通信品質が評価されているつなぐネットがサービスを提供しているマンションにおいてさえ、一部で通信環境の混雑が発生する事態が発生しております。全戸一括型マンションISPサービスの場合、混雑状況を緩和、改善するにはマンション居住者様全員の了解のもと、提供中のマンションISP事業者と交渉して回線帯域を増速するか、他利用者との共同利用を回避するために、利用者が個別に専用のインターネット回線を敷設するなどの対策が必要でした。ただ、個別に専用のインターネット回線を敷設する場合には、利用するまでに工事などで相応の期間を要することや、初期費用として工事費(集合住宅の場合15,000円~40,000円(注5)や、月額費用も追加で必要になることから、利用者が自分で通信環境を改善・最適化するのが簡単ではない状況にありました。

今回、当社グループが提供するConnectixは、特許出願中の次世代インターネット通信技術を利用し、つなぐネットが提供する全戸一括型マンションISPサービスのオプションサービスとして、今後拡大させていく同グループDX事業の最初のサービスとして提供を開始するものです。

テレワーク環境やオンライン授業、又は4Kなどの高解像度の動画視聴などで、より重要で高速な通信環境を必要とする利用者には、有料のオプションサービスとして利用者毎に仮想ネットワーク上に専用ルートを用意し、独自に物理的な専用回線を敷設するのと比べてはるかに安価なコスト、かつ工事不要のオンライン申込を通じて、即時にこの優先制御サービスの利用を可能とします。

Connectixは通信需要の多様化に対応し、インターネットが社会インフラとして利用されているなか、利用者にとって通信のフリースタイルを実現する画期的なサービスとなります。

(注4) 出典「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計結果(2020年11月分)」(総務省)
(https://www.soumu.go.jp/main_content/000731585.pdf)

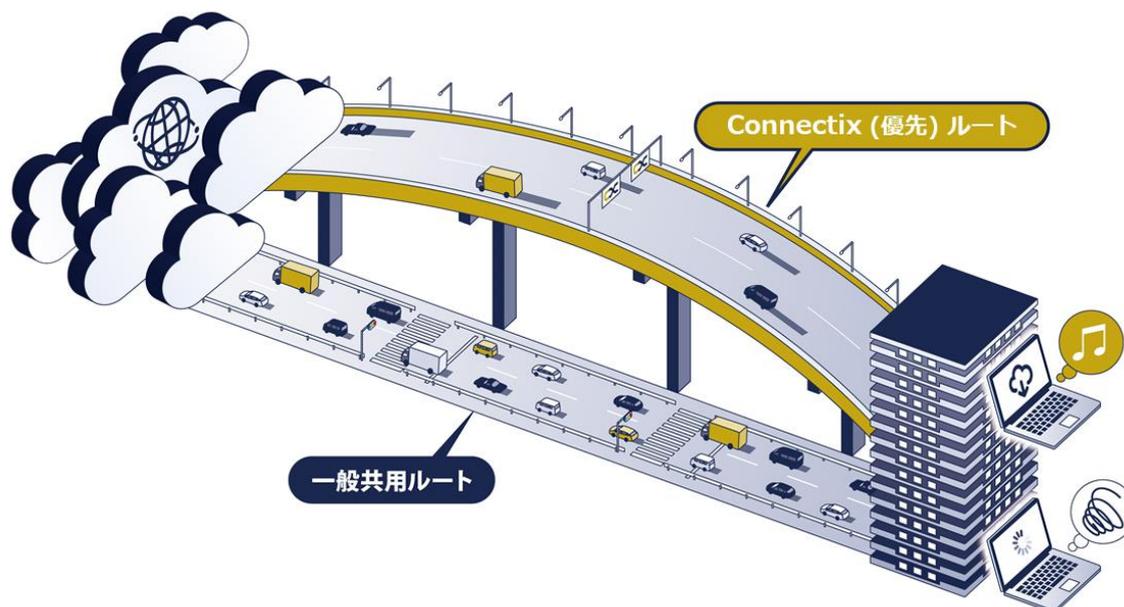
「2. 我が国の固定系ブロードバンド契約者の総トラフィック」2頁より抜粋

(注5) 出典:「参考資料(固定通信に関する事項)」(総務省)

(https://www.soumu.go.jp/main_content/000700885.pdf)

「FTTHアクセスサービスに係る工事費等」3頁より抜粋

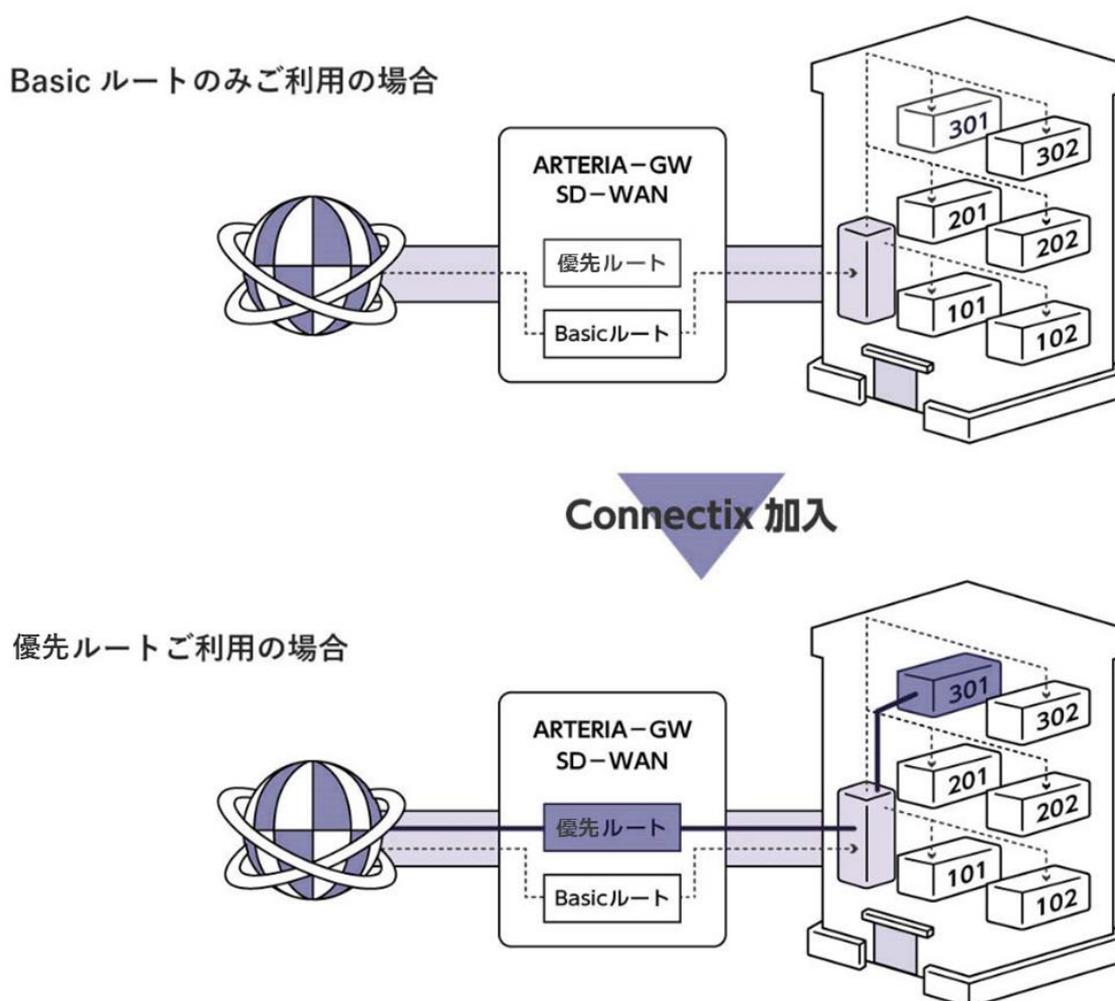
【解説イメージ】



3. 本サービスのメリット

- Connectix は、つなぐネットが提供する全戸一括型マンション ISP サービスに順次対応していく予定です。新規に全戸一括型マンション ISP サービス提供を開始する物件だけではなく、現在つなぐネットを利用されているマンションでも、順次利用が可能になるようにしていく予定です。
- マンション居住者様にとっては、テレワークやオンライン学習などで高い通信品質が必要となった際、オンラインから申し込むだけで優先通信サービスが利用できるため、個別に専用のインターネット回線を引くよりも、時間とコストを大幅に削減することが可能となります。
- Connectix を導入いただいた管理組合・管理会社様にとっては、ヘビーユーザーの方にも簡便かつ快適に、夫々のニーズに応じたインターネットサービスをご利用いただけることで、インターネットの速度への不満が解決されることになり、通信環境の混雑の対応に伴う管理・対応工数などの大幅削減が見込まれることとなります。

【Connectix (SD-WAN) の仕組み】



4. 本サービスのメリット
 - 本サービスの提供開始は、2021年8月初旬を予定しております。(SD-WAN 技術を用いたサービス基盤の構築は2021年6月完了予定)
 - サービス開始以降、当社が新規に提供する Connectix 対応タイプの全戸一括型マンション ISP サービスで、もれなく利用可能となります。
 - 既に提供済みの物件に関しては、共用部分に専用機器の設置が必要となりますので、定期検査などの機会を利用し、管理組合・管理会社様のご承認をいただきながら、導入棟を順次拡大してまいります。
 - 優先制御のオプションサービスの価格等に関しては、決定次第、順次利用者様に通知を行ってまいります。

5. 初年度の導入目標戸数

つなぐネットでは、現在 80 万戸のお客様に全戸一括型マンション ISP サービスを利用して頂いておりますが、今年度中には 15 万戸のお客様に Connectix サービス提供を可能としていく予定です。

6. 当該事業を担当する部門

当社グループでは、ソフトウェアを活用し、利用者の方に直接提供できる(D2C)各種サービスを、今回の Connectix を第一弾として展開していくことを計画しております。この事業立ち上げ、拡大を目的として2021年4月より専門組織であるDX事業本部を新設いたしました。

DX事業本部では、オンラインのサービスプラットフォーム上でマンション居住者様に Connectix をきっかけに様々なサービスを直接ご提供することにより、よりよい生活への変革を実現していく所存です。また、マンション居住者様だけでなく、一戸建ての居住者様や、SOHO をはじめとする法人のお客様など、幅広いセグメントへもアプローチできるようなサービスプラットフォームへ事業を拡大することで、DXによる社会の変革に貢献してまいります。

7. 今後の見通し

当サービスによる2022年3月期通期連結業績に与える影響は、2021年5月14日公表した「2021年3月期 決算短信[IFRS](連結)」の通期連結業績予想に反映済みです。

以上